

令和7年度 上田市立 丸子北小学校 自己評価シート

学校教育目標	めざす子どもの姿（中期的目標）
1 違いを認め、お互いを大切に する子	○しっかり考え、自分から動ける子ども
	○力を合わせて粘り強く追究する子ども
	○自分やまわりの人を大切に する子ども
	今年度の重点目標
2 自分の考えを持ち、進んで 学ぶ子	1 学び合い学習の充実を図り、探究的な学びを進めるための力を育むために取り組んできたか。
	2 「自分自身と向き合い自分を成長させる時間」になるよう、心みがき清掃に取り組んできたか。
3 最後までやり抜く子	3 「自ら進んであいさつできる」ことを目指し、工夫して取り組んできたか。
	4 「お互いを認め合う学級づくり」をめざし、工夫してできたか。

領域	対象	評価項目	評価の観点
学校教育	学習指導	基礎的な学力の定着	学力の向上をめざし、子どもたちが「わかった」「楽しい」を実感する授業を実施してきたか
			家庭学習の習慣をつけるために、「15分×学年」を目安に、家庭と協力しながら発達段階に応じた課題の工夫をしているか
学校教育	生徒指導	より良い人間関係づくり	子どもたちが楽しい学校生活を送れるように、一人ひとりが存在感をもち、学び合える雰囲気学級づくりを行っているか
			子どもたちが、安心して生活できるように、学級の人間関係に敏感になり児童の心に寄り添った支援をしてきたか
学校運営	地域との連携	学校からの情報発信	学校は、日頃の学校教育の理解や信頼を得るために、「学校便り・学年便り・ホームページ」等で、学校の様子を伝えているか
		安全安心対策	学校は、毎日の下校指導や地域の「安全見守り隊」と連携して、事故防止や安全指導を進めているか
	研修	授業改善と児童理解	教師は、学習指導や生徒指導等で研修したことを、日常の授業に生かしているか
		職員の綱紀粛正	「非違行為防止」に努めているか
	支相談	子どもや保護者への教育相談	保護者や子どもからの相談に対して、関係職員や関連機関とも連携しながら、適切な対応をしているか

総合評価					
成果と課題					
A	B	C	D	改善策・向上策	
○				○本年度は「探究」を最重点目標に掲げて、40分前5時間授業の日課にして、探究的な学びの時間を創設することができました。また、フリースタイルプロジェクトや総合的な学習の時間や生活科などで、探究的な学びに向かうための環境の充実を図ることができたと考えます。 ○全校で「心みがき清掃」に取り組み、振り返りの時間を大切に位置付けることを継続したことで、自己を見つめながら主体的に取り組む姿が見られるようになってきました。清掃だけではなく様々な活動でも児童の自主性が伸びてきていると感じます。今後も、子どもたちの学びの姿を丁寧に見取り、認め、励ましていきたいと考えます。 ○「個別の指導計画研修」「Q-U研修と検査の活用」「外部講師による学び合い学習研修」などを通して、見通しをもって主体的に活動に取り組む児童の姿が多く見られるようになってきました。引き続き、個に寄り添いながら、全校で大切に取り組んでいきたいと考えます。	
	○			○今後も、児童の実態に合った課題を設定したり、ペアやグループ活動を工夫したりしながら、主体的で対話的な学びを実現していきます。フリースタイルプロジェクトでは、子どもたちの好きなこととことん探究できる時間を保障していきます。	
		○		○清掃の「振り返りの時間」を位置付け、毎日自己を振り返ることで、自己と向き合う姿が多く見られるようになってきています。振り返りノートへの対応について職員研修を実施し、活動への共通意識を構築しています。	
			○	○各担任から意識して先に挨拶するなどの工夫したり、児童会でも校内を巡回してあいさつを交わす活動を実施したりして積極的なあいさつを交わす工夫をしてきました。	
○				○「学校がとてもし楽しい」と答えた児童が96%に達しました。「Q-U研修」等、「学級づくり」の取り組みの成果が表れてきていると思われます。	

総合評価					
成果と課題					
A	B	C	D	改善策・向上策	
	○			○学び合い学習を充実させていくために、外部講師として麻布教育研究所の村瀬公胤先生を招聘して職員の意識改革や、児童へのかわりの具体について研究に取り組んできました。「勉強があまりわからない」「わからない」と答えた11%の児童への対応が課題です。	
		○		○「宿題を毎日きちんとしている」と回答した児童が、83%に上りました。保護者のサポートにより、家庭学習の習慣や質が向上してきています。フリースタイルプロジェクトについて自宅で調べるなど自発的な学習の姿も見られました。	
			○	○お互いのよさを認め合える活動を大切に位置付けて取り組んできました。児童アンケートでは肯定的な回答の児童が90%に達しました。	
			○	○「寝る」「受け止める」を大切にしながら、日頃の声掛けや学習支援を行うなど、より良い人間関係づくりができるよう心掛けてきました。	
			○	○学校の行事や授業の様子を、玄関のテレビで放送して発信しました。「学年便り」や「学校便り」、「学校HP」など、定期的に発行・更新するよう心掛け、積極的に情報を発信することができました。また、メール配信を活用し、こまめな情報配信に努めました。保護者の肯定的な評価が99%に達しました。	
			○	○児童の好評価が99%に達しました。保護者のAB評価は96%に達しました。継続的に具体的な安全指導を引き続き行っています。	
			○	○麻布教育研究所長の村瀬先生を招聘して「学び合い」の校内研修を実施したり、清泉大学の片瀬拓弥先生を招聘して「Q-U」の活用研修を実施したりして、学級経営や授業の在り方についての研鑽をしてきました。	
			○	○職員会で短時間の研修実施する等してきましたが、職員評価の達成度が100%となりました。引き続き、非違行為防止の研修を重ねていきたいと考えています。	
			○	○児童や保護者の話を丁寧に聴いたり、定期的な懇話会や支援会議を開いたりするように心掛けてきました。担任だけでなく学年や特コなどと共にチームで対応するようになりました。	